

アジアナンバー1、世界第4位に選ばれた6つ星ホテル



# ウルトララグジュアリーなホテルで贅沢ステイ ザ・レヴェリー・サイゴン The Reverie Saigon

2015年にオープンしてから聞く間に全世界から注目を集め、滞在した人の評価がとても高いので気になってしましましたが、実際に宿泊したら、まさに「ウルトラ」をつけたくなるほどラグジュアリー。ユニークなのは、ベトナムなのにホテルの内装はイタリアンデザイン。その理由は、オーナーがホテルを建築するにあたって世界最高峰の美を追求した結果、「美しいデザインはイタリアにあり」という結論を出したため。しかも「ブランドではなく、イタリアのインテリアデザイン界の名だたるトップブランドが「ドリームチーム」を結成し、前例のない試みで博物館のような超豪華なホテルを創ってしまったのです!

どれだけすごいかというと、取材後、アメリカの権威ある旅行雑誌「コンデナスト・トラベラー」読者投票でこのホテルが、オープンして2年で世界第4位、アジア一位（もちろんベトナム一位）のホテルに輝くという快挙を達成。（2017年10月）やっぱりね。

まずはメイン・エントランスから。ボリビア産の貴重な青い大理石に、滑めくらめくの装飾がふんだんに使われて豪華のよう。天井にはムラーノ島のヴェネチアングラスで描いてトナムの花瓶に、クリスタルとスリルの装飾が施されています。



目がくらむような美しさのボリビア産のブルーマーブルとゴールドで埋め尽くされたエントランス。「ドンコイ通り」と「グエンフエ通り」の両方に面したこのホテルのエントランスは、風水師によって良い「気」が入るように配置されています。

The Reverie Saigon  
22-36 Nguyen Hue Boulevard,  
Ben Nghe Ward,  
District 1, HCMC.  
Tel +84 28 3823 6688  
[www.thereveriesaigon.com](http://www.thereveriesaigon.com)

料金：客室：Deluxe Room USD 350～（海朝食、毎日備えのミニバー、Wi-Fi 利用含む）、スイートルーム：Junior Suite USD 800～（海朝食、毎日備えのミニバー、ザ・レヴェリー・ラウンジの利用、片道または往復の空港送迎＜カテゴリーによる＞、Wi-Fi 利用含む）  
詳細はウェブサイトをご覧ください。  
ザ・レヴェリー・サイゴンは、ザ・リーディング・ホテルズ・オブ・ザ・ワールドに加盟しています。  
Tel 0120-086-230

ヴェネチアングラス  
で描かれた  
ベトナムの地図



ヴェネチアングラスで描いたキラキラ輝くカラフルなベトナム地図と、クリスタルとスチール製のLEDシャンデリアはVGニコートレンド社製の「アラベスク・エッグ」。施水筋の靴えに従って、よい「気」を取り入れる場所に建てられたエントラス。

## ベトナムが世界に 誇れるホテルを創りたい

到着後、ゲストは7階のレセプションへ。正面に鎮座する時計は「ハルディ」に特注品。風水の教えから、翡翠色のマラカイト（孔雀石）の化粧板を使用。左右には大理石、そして「シチズ」による美しく巨大なモザイク画がゲストを迎えます。

レセプションルームは広々と、中央の重さ1トンのモニュメンタルクロックは「パリディ」特注品。風水の教えから、翡翠色のマラカイト（孔雀石）の化粧板を使用。左右には大理石、そして「シチズ」による美しく巨大なモザイク画がゲストを迎えます。

時計の左右の壁は総大理石とモザイク画。ベニチアンモザイクのブランド「シチズ」がこのホテルのために制作しました。

「まあ、スゴイわねえ」と、説明を聞きたながらちょっと疲れて大きなソファに腰掛けたら、なんとそのソファこそ、世界にふたつしかない「コロンボスタイル」社のソファ「エスマーラルダ」でした！（P25の上）ワインカラーのオーストリッチレザーにゴールドの美しいパロッタ的装飾。この色違いのソファをマイケル・ジャクソンが自宅用に所有していたそうです。ちなみにアメリカ大統領の家具もコロンボスタイル社製。その座り心地はと申しますと、ふかふかでいい感じ。惚れます。

ところで、ザ・レヴェリーサイゴンは39階建ての「タイムズスクエア」ビルは、夜になるとカラフルなライトショーも

したが、大変フレンドリーな方で、「いかがですか？ 快適にお過ごしですか？」などと気づかってくださいました。

そのオーナーが「ベトナムが世界に誇れるようなホテルを創りたい」と一念発起し、莫大な予算を投じて創ったのがこのホテル。徹底的に細部まで美しさを求めて手を抜かない、イタリアンオールスター陣でを頼り、現地スタッフの温かくてハートフルなおもてなしが自慢です。たった2年で世界4位、アジア一位の座を獲得したのも不思議ではありません。



コンテンポラリーな39階建ての「タイムズスクエア」ビルは、夜になるとカラフルなライトショーも

これが場の世界にふたつしかない「コロンボスタイル」のソファ「エスマラルダ」は、ほれぼれするほど  
の美しさ。



オルピアノメーカー「ベヒシュタイン」1855年製のグランドピアノを「ルルディ」が世にも美しく飾らせてました。ロシアンモザイクが施されたグリーンのマラカイトの化粧板とブロンズ脚脚、もちろんあります。



エレベーターの壁は天然の琥珀石を薄くカットしてはめこみ、ライトアップしています。天然の石ならではの優しい光に癒されそう。「そこまでこだわるの！」と思わずうなったエレベーターの声でした。

# パブリックスペースで見つけた美しいもの

細部まで美へのこだわりが感じられます。ディテールも見逃せない！



24mのプールサイドは「B&B イタリア」のソファや家具がおかれて、南国リゾート気分を味わえます。水中で音楽が流れるユニークなシステムのプールです。



「ヴィジョネア」によるスワロフスキーのライト。精巧な美しさに見とれてしましました。ライトというより芸術品です。



孔雀の絨はスワロフスキーでできています。「ヴィジョネア」によるもの。ホテルのロゴも孔雀の羽根。孔雀はベトナムでは幸福と幸運を知らせるサイン。



真っ赤なシャンデリアはヴェネチアングラスでできたもの。天井まで、どこを見ても最高級のイタリア製。



サイゴン1の高さを誇るホテルからの眺め。ホーチミン人民委員会庁舎を眼下に見下ろすロケーション。お部屋からも朝から夜景まで絶景を楽しめます。



「カフェ・カーディナル」の椅子をよく見ると、犬の形です。おまけに首輪までついている！ イタリアアーティストのユーモアが光るこのチェア、欲しい！



カラフルで愛らしいマカロンは、お部屋にサービスされていたもの。マカロンはもともとイタリアからフランスへ渡ったお菓子です。



「カフェ・カーディナル」の壁面に飾られた3つのアーティスティックなライトは、壊れた鏡を組み合わせた作品。「サステナブル」をテーマにしています。

イタリアンデザインの  
ドリームチームによる  
夢のようなインテリア

レセプションから美しい螺旋階段を踊りていくと、階下にあるのがフレンチレストラン「カフェ・カーティナル」。オープンキッチンになっていて、シェフが調理する姿を見ながらお食事を楽しめます。コーラスな大理石の柱や床が印象的。吹き抜けとなった全高カラス窓からは、素晴らしいサイゴンの景色が楽しめます。朝からスパークリングワイン三昧が楽しめる朝食もここでいただけます。



美しいゲストルーム

ホテルでゆっくり時を過ごしたい

ゴージャスなベトナムの休日





「ドームをご紹介しましょう。客室はレヴェリー・スイートで、1平方㍍の豪華サイズのスイート。豪華アブリックは「ルベリ」、ミラノのスカラ座のボックス席の仕様やモスクワのボリショイ劇場の手稿りのステージカーテンなどを使われている創業126年を誇るベネチアの高級ファブリックブランド。ベトナムのホテルで「ルベリ」を採用したのはこれが初めて。ホテル全体で1万2千坪分を質屋に使用しています。



右／デザイナー・スイート「ジョルジェッティ」。左／シックなレヴェリー・スイートの一室。



### イタリアデザインの美を堪能するゲストルーム

ジョルジェッティ、ヴィジオネア、カッシーナ、ボルトローナ、フラウ・グリブなど、イタリア最高級ブランドの家具や調度品に彩られた美しい部屋は、全286室。12種のカテゴリーに分かれ、スイートは62室あります。

中でもスイートはため息の出るような洗練されたデザイン。その一例をここでご紹介しています。

スイート以外のお部屋もかなりゆったりした広さ。窓から美しいサイゴン市内の眺望を楽しめて贅沢な気分になれるはず。ウォータースルーのクローゼットに、広いバスタブとシャワールームが備えられ、ビールやソフトドリンク、ミネラルウォーターなども常備されたミニバーはすべて無料。エスプレッソ・マシンにダマン社の紅茶も用意されています。



デザイナー・スイート「ジョルジェッティ」。アイコンのウォーキングスタイルをモチーフにしたアームチェア「プロゲッティ」。ジョルジェッティは杖の熱心なコレクターだったそう。



右／ブルーが基調のジュニア・スイート。左／デザイナー・スイート「ヴィジオネア」。キングアーサーをイメージしたシャンデリアに注目。

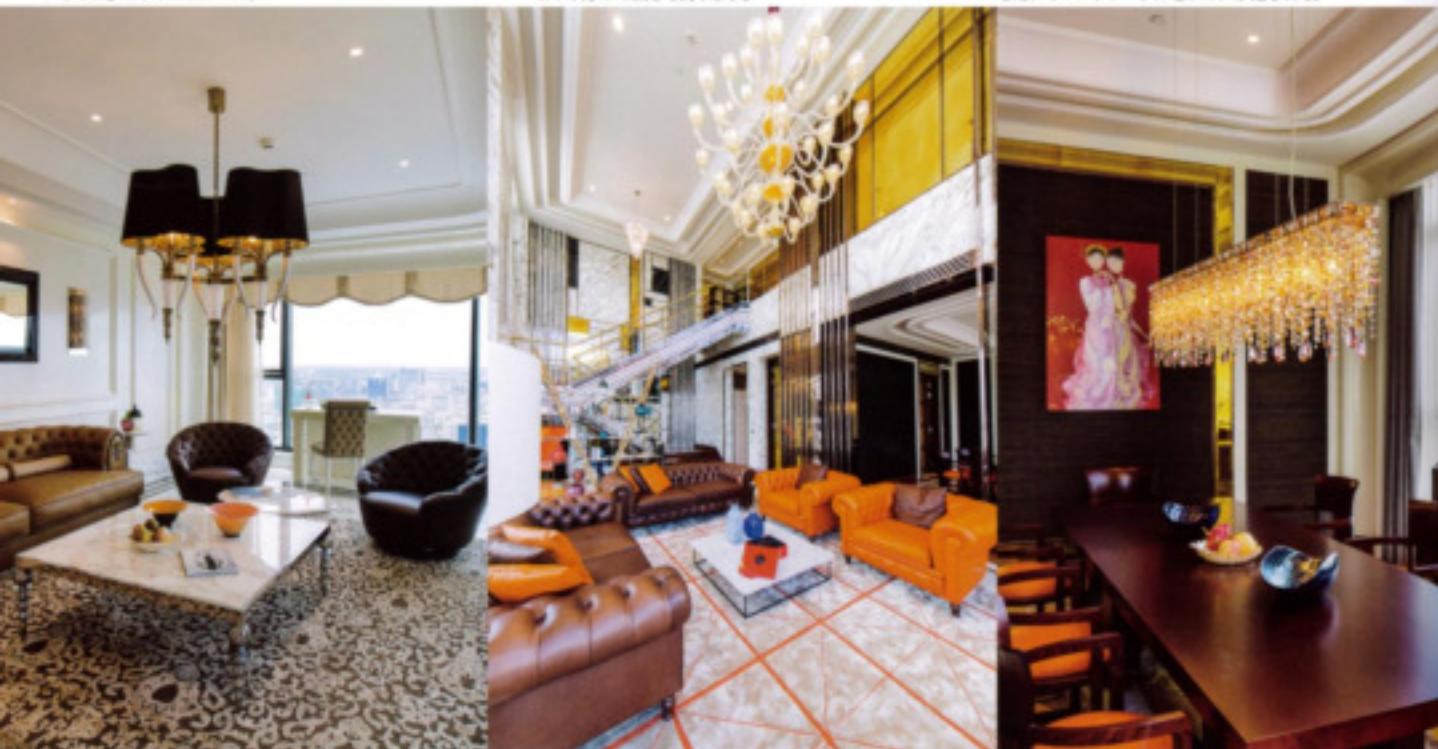


上／デザイナー・スイート「ジュルジュッティ」。カエデ科の木材でベースがつくられた天蓋つきのベッドが美しい。

洗練されたデザインのデザイナー・スイート「ヴィジョネア」のリビングルーム。

サイゴン・スイートのウルトラ・ゴージャスなリビング。276平方mの広さを誇ります。

サイゴン・スイートのダイニングは、フランク・ロイド・ライトのオリジナルデザインを「カッシーチ」が再生させたダイニングテーブルとチェアが配されて。



上下ともにサイゴン・スイート。上／「カッサー」の家具がおされた部屋にはフェラーリの豪華な革シートを手がけるボルトローナ・フラウのトランク型のミニバー「イシドロ」も配置されています。下／イタリアデザインらしいカラフルなインテリアに心も弾みそう。



### バスルームまでも美しい！

バスルームは全室にフレット社のタオルが備えられています。アメニティはショパール。スイートはエルメスまたはアクア・ディ・バルマ。全室ではありませんが、一部のお部屋のバスルームの床はモザイクのタイルとなっていて、これがまた美しい。建物がカーブしているのに合わせた窓ガラスは特注で、バスルームやシャワールームから見える景色も格別です。



## スイートのゲスト専用の ザ・レヴェリー・ラウンジ



最上階の2階にあるのがスイートのゲスト専用スペース「ザ・レヴェリー・ラウンジ」。542平方㍍のゆったりしたスペースで、インテリアは「グラマー・デザイン」をコンセプトに「ヴィジョニア」が手がけました。窓からは素晴らしい眺めが楽しめます。朝食、午後のアフタヌーンティー、夕方からはシャンパンバーなどをはじめ各種ドリンクや軽食がふるまわれるイブニング・カクテル。すべて無料でサービスが受けられます。

スクエアの形がモダンなアフタヌーンティーセット。

## 感動するほど施された スパ・トリートメント

つたもの。サイゴンでは「」だけの取り扱いです。

「ザ・スパ」は2フロアを有し、フィットネスセンター・ヘア&ネイルサロンを含むと一千二〇〇平方mの広さ。レセプションスペースの全面の窓からは市内が一望。インテリアがまたうつとりするほど美しくてゴージャスです。受付をすれば、体調についてアンケートを記入したらロッカーエリアへ。

2つのサウナがあり、女性向けはヒマラヤンビンクソルトを用いた塩サウナとアロマテラピーのスティームサウナ、トロピカルな香りのシャワーなどもあり、

施術前に身体を充分にほぐしておくトリー・メント効果もより期待できます。

（男性施設にはリフレッシュ効果のあるアイスファンタントンサウナがあるそう）

施術時間にならセラピストに説われて、さあ、至福のトリートメントタイムへ。左ページの美しいゴールドの螺旋階段をあがっていくわけですが、この階段はイタリアのタイルメーカー「シチズ」の花模様のモザイクで彩られ、天国への階段を登るような心地。自然とワクワクしてきます！ クルミ材を用いた優雅に彫曲した廊下には、10室のトリートメントルームが並んでいました。

シックで静かですが行き届いた優雅さをたたえたスパルーム。メニューは東洋と西洋のヒーリングテクニックや素材を用いた多種多様なプログラムを用意していて、おすすめは英国発の星ホタルなどで認められている「」や、ハイエンドなオーガニックスパ製品を使

ったもの。センシャルオイルを5つ使う「ファブ・エレメンツ・マッサージ」をセレクトしました。「クラク」。まさに田舎がんばった自分の身体への「褒美」です。セラピストのハンさんが、丁寧に優しく、そして繊細に90分間心を込めて施術してくれた結果、しつこい慢性肩コリが見事にはぐれました！ 首を痛みもつかえることもなくなめらかにくるくる回せるなんて、一体どんな魔法をかけたの？ 世界の名だたるスパを体験した中でも、こんなに身体の奥深まで施された経験はほとんどありません。香り、空間やインテリアがもたらす視覚の美の効果、プロダクト、セラピストの技術と心、高く評価したいアメイジングなスパです。

上／広々としたレセプションスペース。下右／施術後はハイビスカスティーやフレッシュフルーツのサービスが。下左／明るく開放感のあるフィットネスセンター。



右／「」、Voyaなど、上質なオーガニックスパ製品を使った多彩なメニューを用意。中／施術前に花びらを浮かべたフットバスでマッサージ。左／シグネチャーメニューの「ファブ・エレメンツ」は5つのエッセンシャルオイルを使うチベット式のマッサージが全身の5感のバランスを取り戻します。カッピングと揉みほぐし、ホットストーンとハーブボールも使うなど、やって欲しいメニューが全部入っています。



うっとりするような  
黄金の階段の行く先に  
至福の時間が待っています



スリーブルームへは、金色のドア  
スリーブルームへは、金色のドア  
施された黄金の階段をのぼつ  
て、思わずワクワクしそくる  
感動的なロビー



上／前菜はミネストローネのシャーベット。まるでアイスクリームのように仕上げて、バラを添えたロマンティックな提案。下右／パスタは貝をたっぷりのせた自家製イカスミのタリオリーニは紐に包んで蒸し焼きスタイルで。下左／メインはUSビーフ・リブ・アイのスライス、熟成パルセミコソース。

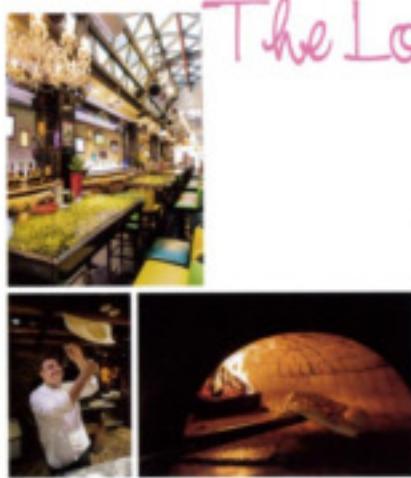
R&J

R&J ラウンジ&レストラン

ベトナムでイタリアン  
R&J ラウンジ&レストラン

地下一階にあるR&Jは、シェイクスピアのロミオとジュリエットのロマンスと情熱からインスピレーションしたイタリア料理のラウンジ&レストラン。モザイクで彩られたゴールドの壁、そしてイタリアの各地域をイメージしたユニークなダイニングシアがおかれ、ドラマティックなムードが漂います。

シェフはイタリアの星つきレストランで経験を重ねてきたファブリツィオ・ヴァルデッラーラシェフ。自家製パスタはイタリアの小麦粉で作られ、高級食材はイタリアから空輸、肉や魚貝類もフランスやアメリカから仕入れるというこだわり。ワインセレクションも充実しています。



まるでイタリアにいる気分になれる美味しいピザ。

The Long @ Times Square

ザ・ロング@タイムズスクエア

ベトナムで食べる本格ピザ  
48mのバー・カウンターも人気

イタリア・ナポリからやって来たピザ職人、チーロ・ソレンティーノシェフの焼き立てピザはとつても美味しい。ナポリから持つて来たピザ窯で焼き、週2回イタリアから空輸されるブランータチーズを使った本格ピザが食べられます。インテリアもクール。ホテルがドンコイ通りとグエンフエ通りに面しているため、2本の通りを賃くようにお店があつて48mの超ロングなバー・カウンターがこの店のアイコンです。



## The Royal Pavilion

ザ・ロイヤル・パビリオン

洗練されたおもてなし  
地元民にも人気の広東料理

「ザ・ロイヤル・パビリオン」は香港出身のリ・カム・ワ料理長が腕をふるう本格広東料理。あわび、なまこ、燕の巣といった珍味、子豚のローストに北京ダック、ハニーチャーシューなど、王道の中華料理が食べられると評判です。

いただいたのはお屋の点心。金魚の

形をした蒸しんだんにかわいいピンクの子豚のチャーシュー、まんじゅう、蒸した赤米の点心など。細工の美しさ、味のよさ、高級食材のウマミがぎっしりつまついて美味でした。

空間デザインも洗練されていておしゃれ。翡翠、朱、金で飾られた壁起のよいチャイニーズ式のインテリアに、イタリアの「プロヴァンス」が特別にデザインしたシェアが融和して独特な雰囲気を漂わせています。



右上／豪華なたたずまいのレストラン入り口。左／チャイナドレスの女性がにこやかに迎えてくれます。右／優雅に本格広東料理を味わって。



ベトナムの近代絵画の歴史と  
今を学ぶアートツアーリ

# Pearls of Saigon

パールズ・オブ・サイゴン

ザ・レヴェリー・サイゴンとアートの専門家ソフィー・ヒューズさんとストウ・バー・マーサンの「ソフィーズ・アート・ツアード」がパートナーシップを組んだ、ベトナムのモダンアートを知る時間のアートツアーリに参加しました。

ベトナムの近代絵画の歴史は4つの章に分かれます。はじめはフランス統治時代(1925年)にフランス人の画家タルデューによってハノイに「インドシナ美術学校」が開校されたこと。学校が存在した20年間で約180人のベトナム人のアーティストが育ち、漆繪、絹繪、木版

画など、西洋の技法とベトナムの伝統が融合した独自のベトナムのモダンアートの基礎が築かれました。「ドゥック・ミン・プライベートギャラリー」で学校の第一期生たちの貴重な作品を鑑賞します。

第二期はコンバットアートの時代。インドシナ戦争でアーティストたちは銃を持ちながら絵を描き、アートがプロパガンダとして利用された時代です。保存された当時の兵士のスケッチなどを見ると、胸に迫るものがあります。

第三期はベトナム戦争前後の時代、第

4期はドイモイ政策後から現代まで。元アメリカ大使公邸だった「サロン・サイゴン」にはベトナムの優れたコンテンポラリーアート数点が展示され、展示会や上映会などをを行っています。現代のアーティストたちが描く絵画に秘められた想いなどを読み解くなど、なかなか興味深い内容です。

ツアーリはゲストの希望により初級から専門的な内容まで自在に対応してくれます。漆繪の素晴らしさなど、ベトナムのアートに触れる貴重な機会です。



上／サロン・サイゴンに展示された作品。護衛の制服を着た人物の後ろに新品の警察の車、かたつむりなど、これらが意味するものは政権への批判であることなど、作品を鑑賞しながら解説を聞くことができます。右上／サロン・サイゴンでの展示。ベトナムのモダンアートは世界から注目を集めています。



右下の2点／インドシナ美術学校で学んだ女性アーティストの作品。お米が入っていた袋や軍帽の引き出しの板に描かれているのも興味深い。この女性アーティストの作品は市内のアンティークショップギャラリーを訪れて鑑賞しました。

## Vietnam Airlines

ベトナム航空で快適な空の旅



上／「ボーイング787-9ドリームライナー」成田—ホーチミン線は週14便+他社コードシェア14便。右／キャビンクルーの正装はアオザイ。中／自慢のミールサービス。メニューは2カ月ごとに変わります。左／ボーイング787-9のビジネスクラスはフルフラットシート。シートピッチは106.7cm、ゆったり過ごせて快適。



ベトナム航空 <http://www.vietnamairlines.com>

ベトナムの美しい文化を世界中に  
4スター エアラインのベトナム航空

デザート。まるで長距離路線みの充実  
のミールサービスを楽しめます。また、  
一月より東京路線でフレミアムエコノミー

ークラスのサービスも開始しました。  
キャビンクルーはアオザイを着用し、  
ベトナムらしいきめ細やかなおもてなし  
は快適で、飛行機に乗った瞬間からベト  
ナムを感じられるのも魅力です。

そして、ベトナム国内を數々所めぐり  
たい方は、ベトナム航空の国内線ならハ  
ノイ、ホーチミンを中心に関21都市をカバ  
ーしているのでとても便利。マイレージ  
プログラム「ロータスマイル」を貯めれば  
さまざまな特典があるので、ぜひ、ウ  
エブをチェックしてみてください。

プログラム「ロータスマイル」を貯めれば  
さまざまな特典があるので、ぜひ、ウ  
エブをチェックしてみてください。